

中土佐町社協だより

秋号

2023年10月

ふくしのチカラ



『心がつながるアート展』第3回作品 タイトル「ねずみのファンタジー」
地域の方からいただいたボタンで制作した作品です
今年もたくさんステキな作品が展示されることでしょう…関連ページ…P3

Contents

- ・「つどい処防災新聞」～ともに助け合うために、地域とつながろう～ P2
- ・第4回『心がつながるアート展』～ボクらのアートとボクらの暮らし～ P3
- ・ろうじんクラブ（中土佐町老人クラブ連合会） P4
- ・第3回地域ふくし活動同窓会 in 中土佐町民交流会館 P5
- ・交通安全研修と福祉車両について（介護保険事業課） P6
- ・赤い羽根共同募金のあれこれ part 1（中土佐町共同募金委員会） P7
- ・赤い羽根共同募金のあれこれ part 2 / たくさんのご寄付をありがとうございました（お礼）

/職員募集 P8

ともに助け合うために、地域とつながろう

つどい処では、「自分の命は自分で守る、大災害時に備えよう」と定期的な避難訓練や防災の学びを行っています。今年は、1年を通してつどい処の防災の活動記事を掲載しています。今回は、6月、7月の活動を紹介します。

つどい処防災新聞

令和5年度
第2回

◎南海トラフ地震が起きたら・・・

「NHKドラマスペシャル『南海トラフ巨大地震』を視聴し、実際に大地震が起きたら中土佐町ではどうなるかを考えました。このドラマでは中土佐町を舞台に、夜間の大地震発生時に大きな揺れで電柱やブロックが倒れ、日頃のように逃げられない様子や津波に流された町の様子が映像でありました。



町がグチャグチャになり、みんながパニックになる。助け合って逃げるなんてできるのかなあ・・・

災害後はすぐに支援が来るとは限らないと知った。自分たちができることって、なんだろう。

もし避難に困っても誰かに助けってもらえる状況ではないかもしれないので、自分たちで避難できる方法を考えなくてはなりません。お互いに助け合い協力しながら避難生活を乗り越えていくためには、自分たちができることを考えていく必要があると気づきました。

◎東北大地震体験パネル「3.11ソレカラパネル」を読んで

東北大地震で障害のある方の被災時の体験談の記事「3.11ソレカラパネル」を読み、実際に大地震が起きた時に障害のある方は困難な状況をどう乗り越えたのかを知り、私たちが取り組む備えは何かを考えました。

★エピソード（視覚聴覚障害の

ある方の被災時の体験談）

避難先では、まわりの状況が全くわからず、トイレや食事の不便さなど環境に慣れるまで時間がかかった。

だが、気にかけてくれる方が状況を伝えサポートしてくれたことで、避難所生活では自分で考えて動けるようになった。



視覚障害があると自分では何もできないと思われがちだが、まわりの配慮があると自分でもできることもあるということを知ってもらいたい。

★エピソード（被災した地域活動支援センター

の職員の体験談）

避難してすぐの避難所生活では、誰もが余裕なく特別な配慮されたスペースもない状況だったが、普段からよくしてくれていた地域の方が気にかけてくれたので、利用者さんが他の地域の方とも互いに支え合うことができた。



防災意識や知識があったからこそ、行動でき助かったと知った。もっと学ぶことが大事。

不安な環境でも知っている人がいると心強い。

被災後の生活のことを考えると、日頃のコミュニケーションが大切。「困っている時に助けてと言える」、「できる事は一緒に力を合わせて助け合える」、そんな地域のつながりを作っていきたいと考えました。

今回の学びでわかったこと

災害が起きたら、ひとりでは何もできない。みんなが助け合って乗り越えていくために、障害あるなし関係なく、誰もがわかり合える町にしていくことが大切だと思いました。



第4回心がつながるアート展

～ボクらのアートとボクらの暮らし～

私たちの日々の暮らしの中には、働いていたり、スポーツしていたり、時には悩んだり、大笑いしたり色々な活動や出来事、感情が存在します。それらはアートにつながっていたり、いなかったり？ 今回のアート展はそんな日々の暮らしとアートを地域の皆さんに感じてもらう機会として、「ボクらのアートとボクらの暮らし」と題し、暮らしの写真とアートを一緒に展示するアート展を開催します。



開催期間：令和5年12月3日（日）

～12月9日（土）

9時～16時（最終日は13時まで）

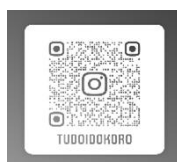
場所：中土佐町民交流会館（中土佐町久礼6584番地1）

つどい処のInstagramの投稿にて作品をご覧になることもできます。

Instagram検索画面から、「tudoidokoro」または、「地域活動支援センターつどい処」で検索。

3

右のQRコードからも読み込めます。→



「心がつながるアート展」実行委員会

つどい処ボランティア/障害者支援施設「せせらぎ園」

就労継続支援B型事業所「鯉乃國の萬屋」

中土佐町地域活動支援センターつどい処

ふるじゅんクラブ

『老人クラブ』といえは、皆さんどんな印象を受けますか？よく聞かれるのが「昔からあるお年寄りの集まり」「老人」という名前に抵抗がある」等で、令和元年に15クラブ417名だった会員は、今年の4月現在で7クラブ194名まで減少しています。

『健康・友愛・奉仕』を基本として、最近では新しいメニューも取り入れながら、沢山の活動をしていますので、今紹介させていただきます。



町内には7つの老人クラブがあり、花植えや地区の清掃等の社会奉仕、日帰り旅行、ポッチャ等それぞれの活動に取り組んでいます。

また、町内の老人クラブが加盟している連合会にはグラウンド・ゴルフ部があり、奈路のグラウンド・ゴルフ場での練習や、町内外の大会に熱心に参加しています。

他にも毎年恒例となったポッチャ交流大会や、昨年度町老連初の取り組みとして折り紙作品を作り、町内の文化展に出展しました。

さらに高幡地区の老人クラブ会員が集い親睦を深めているのが、総会、体育大会、グラウンド・ゴルフ大会、ポッチャ交流大会、芸能大会です。

高幡地区の事業は、日頃会う機会の少ない町外の仲間との楽しい交流の場です。そこかしこで「元気やった？」と会話が始まり、旧知を温め合っています。



新型コロナウイルスの影響で、この数年間あまり活動ができませんでしたが、5類移行に伴い、高齢者こそ健康寿命を延ばすためにも社会参加の場をもとくと、コロナ禍以前の活動に戻す動きになってきました。ぜひ仲間と一緒に楽しみや生きがいを作りませんか？

老人クラブでは会員を随時募集しています。お住まいの地区に老人クラブがない場合は、個人会員として入会することもできます。

詳しくは中土佐町老人クラブ連合会事務局（☎52・2058）までご連絡ください。



第3回

地域ふくし 活動同窓会

2023. 7. 19
In 中土佐町民交流会館

地域福祉のステップアップ

久礼・矢井賀・上ノ加江・大野見の4地域で「学び合い」「語り合い」「高め合う」



久礼地域

「声をかけあい おせっかいで
支えあうまち」を目指し、地域
での支え合い、見守りの仕組
みづくりを継続的に行います。



上ノ加江・矢井賀地域

地域の「困った」を解決してい
くには、推進委員だけではなく、住民一人ひとりがボラン
ティアという意識を持って、地域・
社協・関係機関と一緒に策を考
えることが必要です。



大野見地域

見守りや地域行事の開催
を維持継続する為にはどう
すべきか。若者も減る一方
で、このような地域課題
についても小地域ケア会議で話
し合っていきたいと思ひます。



4地域の『地域ふくし活動推進委員』が一堂に会し、3年振りとなる活動同窓会が開催された。住民主体で取組む各地域の福祉活動の成果や工夫について学び合い、取組の経緯や苦労を語り合い、町全体で福祉の意識を高め合う機会となっている。今回は、先進事例として日高村で取組む住民主体の活動を学び、我が町でも手本にしたい取組が数多くあり、外部からの意見や評価を受け活動者の自信にもつながった。今後は他市町村への視察等も取り入れたいと推進意欲が感じられる。

交通安全研修

今年度、高知県下の交通事故件数が前年度と比較して50件ほど増加しており、施設でも訪問や送迎等で車を運転する機会が多く他人事ではないと考え、須崎警察署の方を講師に招き、安全運転の意識を持つための研修を行いました。

これからも職員一同、日々安全運転を心がけていきます。

福祉車両



みなさんは福祉車両をご存じですか。

『身体に不自由を感じられている方や高齢の方などが使いやすいように、いろいろな工夫が施されている車両のこと』となっていますが、どのような工夫がされているのかご紹介します。

中土佐町福祉まちづくり施設では、普通車1台、軽自動車2台を所有しています。普通車は、リフトでの昇降が可能で車椅子のまま乗車でき、軽自動車は、助手席の座席が回転し移乗がやすく、写真のように使用する事ができます。このように歩行が困難な状態でも車の乗り降りが可能です。

中土佐町社協介護保険事業課のモットーは『在宅生活を最後まで支えるサービス』です。

“歩行に不安があるから通いは無理じゃないか”と考えていらっしゃる方、福祉車両での送迎をさせていただきますので、安心してご利用ください。

当施設事業所のご利用対象は、中土佐町内の在宅で生活をしている要介護認定（要支援1・2 要介護1～5）の方です。お気軽にお問合せください。

【問合せ先】

いちよの丘笹場 ☎0889-59-0557（担当：濱口）

デイサービスセンターのじぎく ☎0889-52-3496（担当：横矢）



リフトが降りている状態



リフトが上昇している状態



2台の車椅子が乗車している状態



座席が下りてくるので車椅子からの移乗が容易

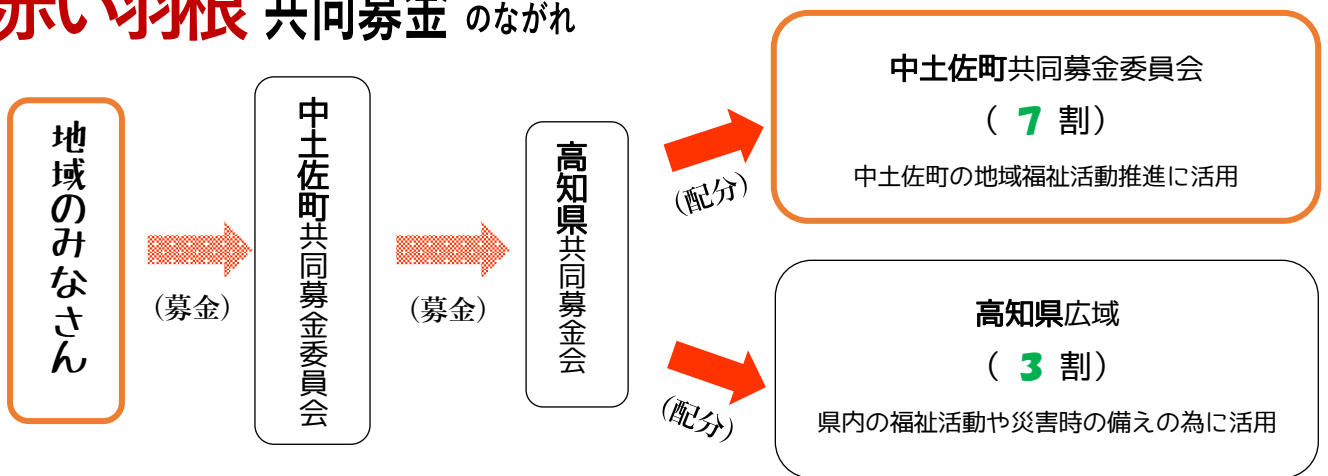
「赤い羽根共同募金」ってなあに??



1947年に設立し、戦後の疲弊した社会で「たすけあいの心」から福祉施設などを支援したことが始まりです。全国で活動が行われ、子育てサロンや高齢者の見守り訪問、災害への備えなど自分たちの町の身近なたすけあい活動に使われています。

「自分のまちを良くするしくみ」が共同募金です。

赤い羽根共同募金のながれ



地域のみなさんの協力で集められた募金は、中土佐町共同募金委員会から高知県共同募金会に送金します。そこで、次年度の各市町村への助成金額が決定し、募金額の約7割が中土佐町の活動に対する助成金として配分されます。残りの約3割は高知県内の広域福祉活動に役立てられています。

中土佐町へ配分された助成金は、中土佐町共同募金委員会審査委員会にて地域に必要とされている活動なのか、活動資金（申請金額）は活動内容に沿っているのか等を審査し、各団体への助成金額を決定しています。

【萬屋昼食ボランティア】

助成金のおかげで取り組みを継続することができました。利用者にも喜ばれています。ありがとうございました。



寄付者のみなさんへ
ありがとう
メッセージ

【「家から出ようよ」汐満の会】

助成金のおかげでようやく念願のベンチが設置できました。椅子がないときは、停留所の標識のコンクリートの端に腰かけていました。これからは椅子に座ってゆっくりと待つことができます。みんなが喜んでいます。ありがとうございました。



【長沢女子会】

コロナウイルスの影響で予定を変更し、お弁当の手作り&配布をしました。サプライズだったので、皆さんびっくりして大変喜ばれました。久しぶりに笑顔で会えて嬉しかったです。助成金のおかげさまで物価高騰の中、活動でき、ありがとうございました。



◆中土佐町の令和4年度の実績は…

【配分金事業】事業実施金額 942,000 円

町内の小中学校や地域活動団体、福祉団体合わせて6団体の申請がありました。まだまだコロナ感染症拡大防止の観点から思うような活動ができていませんでしたが、高齢者や障害者の健康維持や生きがい活動、閉じこもり防止のための整備、児童生徒の福祉意識の醸成、ボランティア活動のきっかけづくりなどに活用されました。また、災害への備えとして備品購入等にも役立てられました。

【募金運動】募金総額 1,210,526 円

〔募金活動〕	〔募金額〕	備考
戸別募金	1,056,700 円	1,913 戸
法人募金	137,000 円	14 団体
個人募金	5,358 円	
募金箱	11,467 円	
街頭募金	0 円	* 町内の活動状況を考慮し取りやめました
その他	1 円	
合計	1,210,526 円	

この令和4年度の活動で集まった募金の約7割が令和5年度助成金事業として配分されました

◆令和5年度の募金活動目標額は 1,150,000 円です。ご協力の程よろしくお願ひします。



寄付なのにあらかじめ目安額があるのはどうして？

共同募金は『計画募金』といって、事前に地域で必要とされている活動に応じて助成計画を立て、目標額を定めて寄付を募る方法です。そのため、「目安額」をお示しさせていただいています。



＊たくさんのご寄付をいただきました＊

(順不同・敬称略)

* プルタブ

松枝 準二 長山 美生 政岡厚子(長沢女子会)
大野維持クラブ たかはしでんき 上ノ加江盆踊り実行委員会
匿名希望…数名

* その他

原 みか
大野見グラウンドゴルフ部
善賢寺

* 切手

政岡厚子(長沢女子会) 大野維持クラブ たかはしでんき どくれもん 田中建設 匿名希望…数名

皆さま、温かいお気持ちをありがとうございました♡大切にに使わせていただきます

社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会【臨時職員募集】

萬屋千ーム



- 介護職員(常勤・パート): 上ノ加江(笹場)勤務
デイサービスでの入浴や食事介助など介護業務全般
- 職業指導員(常勤・パート): 上ノ加江(ストックヤード)勤務
就労継続支援B型事業所「鯉乃國の萬屋」での障害者就労支援
- 調理員等(パート): 久礼(鯉の國のめし家 萬や)勤務
障害者就労支援事業所での調理業務や利用者の支援業務全般
- 休日 年間122日(常勤)
- 給与 臨時的任用職員就業規程による

【問い合わせ先】

(福) 中土佐町社会福祉協議会
担当: 総務課(窪田・中平)
月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
(祝日を除く)

電話: 52-2058

